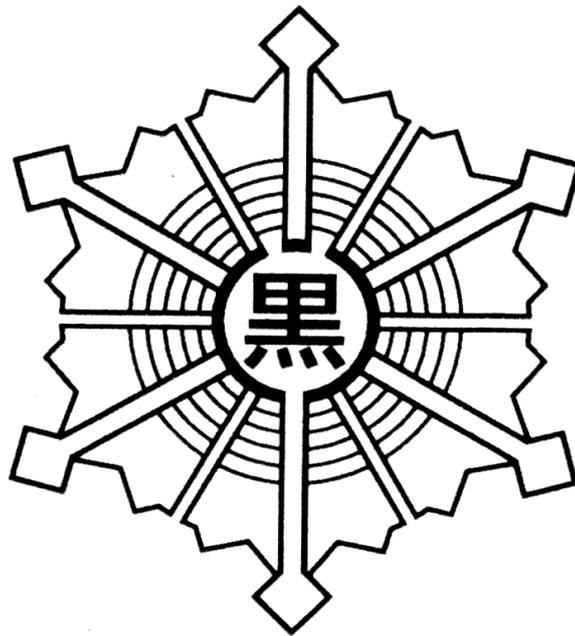


令和7年版

火災・救急・救助統計  
(速報値)



黒川地域行政事務組合消防本部

# 目 次

## 【火災統計】

令和6年の火災概要	1～2
1. 火災総括表	3
2. 市町村別出火率と一世帯当たりの損害額	4
3. 用途別建物火災状況	4
4. 市町村別月別出火状況	5
5. 火災種別月別出火状況	5
6. 市町村別曜日別出火状況	6
7. 火災種別曜日別出火状況	6
8. 火災の出火時刻別状況	7
9. 出火原因別の出火件数	8

## 【救急統計】

令和6年の救急概要	9～11
1. 事故種別月別出場状況	12
2. 事故種別市町村別出場状況	13
3. 市町村別救急出場状況	14
4. 事故種別曜日別出場状況	15
5. 事故種別傷病程度別搬送人員状況	16
6. 事故種別収容所要時間別搬送人員状況	17
7. 管内管外別医療機関等搬送状況	17
8. 救急隊員の行った応急処置の状況	18
9. 年次別自動車専用道救急状況	19
10. P A連携出場状況	20
11. P A連携活動状況	20
12. 救命講習普及啓発活動状況	21
13. 年次別救命講習普及啓発活動状況	22

## 【救助統計】

令和6年の救助概要	23～24
1. 事故種別月別救助出場・活動状況	25
2. 事故種別市町村別救助出場・活動状況	26
3. 事故種別曜日別救助出場状況	26
4. 救出所要時間状況	27
5. 傷病程度別状況	27

# 令和6年の火災概要

令和6年中における火災の状況をみると、出火件数は26件で死者2人、負傷者1人発生している。損害額は28,177千円、建物焼損床面積321㎡、建物焼損表面積15㎡、建物焼損棟数15棟、り災世帯数4世帯、り災人員21人、林野の焼損面積は9aとなっている。

これを前年と比較すると、出火件数は11件の減少で、うち建物火災は前年比9件減少の12件、建物火災焼損床面積、建物火災焼損表面積、林野火災焼損面積、建物焼損棟数、損害額は減少し、り災人員は昨年と同数であった。

## 1. 出火状況

出火件数は26件であり、14.1日（前年9.9日）に1件の割合で火災が発生したことになる。火災種別では、建物火災が最も多く12件（46.2%）、次いでその他の火災7件（26.9%）、車両火災6件（23.1%）、林野火災1件（3.8%）となっている。

出火件数を市町村別にみると、大和町が15件（57.7%）と最も多く、次いで富谷市が6件（各23.1%）、大郷町が3件（各11.5%）、大衡村が2件（7.7%）となっている。

## 2. 出火率

出火率（人口千人当たりの出火件数）をみると、管内平均は0.28であり、前年より0.12ポイント減少している。

これを市町村別にみると大和町が0.54と最も高く、次いで大郷町が0.40、大衡村が0.36、富谷市が0.11ポイントとなっている。

## 3. 損害額

火災による損害額は28,177千円で、前年と比較し10,781千円の減少となった。火災種別ごとに損害額をみると、建物火災が26,930千円（95.6%）で損害額のほとんどを占め、車両火災が952千円、その他の火災が265千円、林野火災が30千円となっている。また、市町村別にみると大和町が20,683千円で最も多く、次いで大郷町が6,283千円、富谷市が971千円、大衡村が240千円となっている。それを一世帯当たりの損害額でみると、大郷町が2,133円で最も多く、次いで大和町が1,652円、大衡村が113円、富谷市が47円となっている。

## 4. 月別出火状況

月別にみると6・10月が4件（各15.4%）で最も多く、次いで2・3・7月が3件（各11.5%）、4・5・9月が2件（各7.7%）、8・11・12月が1件（各3.8%）となっている。

## 5. 曜日別出火状況

曜日別にみると、月・火曜日が6件（各23.1%）で最も多く、次いで水曜日が5件（19.2%）、木・金曜日が3件（各11.5%）、日曜日が2件（7.7%）、土曜日が1件（3.9%）となっている。

## 6. 出火時刻別状況

出火時刻別状況をみると「14時から16時」の時間帯が6件と最も多く、次いで「8時から10時」・「10時から12時」が各4件、「12時から14時」・「18時から20時」が各3件、「6時から8時」が2件、「16時から18時」・「20時から22時」・「22時から24時」が各1件となっている。

## 7. 出火原因

出火原因別では、電灯・電話等の配線が4件と最も多く、次いで火入れ・排気管が各3件となっており、原因不明は4件であった。

### 【まとめ】

令和6年中の火災状況は、出火件数が26件で昨年と比較し11件の減少となった。損害額は前年比で10,781千円減少している。近年、防火対象物火災が増加傾向にあるため、防火対象物及び危険物施設の計画的な立入検査を実施するとともに、防火管理者等による自律的な防火管理体制の構築を図り、過去の火災事例を教訓とした危険要因の改善指導に努め、指導体制を強化していく。

火災原因としては、電灯・電話等の配線、排気管等の電気配線や車両等からの火災が多く発生している。日本社会は、少子高齢化が加速しているが、管内も同様である。高齢者世帯の増加が社会問題化している中で、関係市町村、消防団員、女性（婦人）防火クラブ員、地域包括支援センター等と連携して、火災予防の啓発、周知を図っていく。また、火災原因の調査及び原因究明のため、火災調査員の育成に努めるとともに、専門教育の実施により正確かつ迅速な調査能力の向上を図っていく。

黒川地域は今後も企業進出が増加すると予想され、就業人口の増加傾向は続いていくものと思われる。このような状況は、火災や災害事故等の発生も複雑多様化し、大規模化することも十分に予想されてくる。そのため、各関係機関や外郭団体と協力のもと、防火研修会や自主防災訓練等をとおして、住宅における防火対策、乾燥時及び強風時の火災発生防止対策、放火防止対策、防火対象物等における防火安全対策の徹底を推進し、「安心して安全なまちづくり」に向けて、防災力の向上を目指していく。

# 1. 火災総括表

区分 市町村別	出火件数	火災種別				焼損棟数					焼損面積		
		建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(m <sup>2</sup> )		林野(a)
											焼損床面積	焼損表面積	
富谷市	6	2	1	3		2				2			9
大和町	15	8		2	5	8	2		1	5	191	2	
大郷町	3	2			1	5	3		2		130	13	
大衡村	2			1	1								
計	26 (37)	12 (21)	1 (3)	6 (2)	7 (11)	15 (23)	5 (5)		3 (6)	7 (10)	321 (1,060)	15 (24)	9 (31)

( )内は令和5年

区分 市町村別	死傷者		り災世帯				り災人員	損害額(千円)				
	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	その他
富谷市								971	648	27	296	
大和町	1	1	3	1		2	16	20,683	20,003	3	416	261
大郷町			1	1			5	6,283	6,279			4
大衡村	1							240			240	
計	2	1 (4)	4 (10)	2 (2)		2 (1)	21 (21)	28,177 (38,958)	26,930 (37,986)	30 (233)	952 (738)	265 (1)

( )内は令和5年

## 2. 市町村別出火率と一世帯当たりの損害額

区分 市町村別	世帯数	人口	出火件数		損害額	
			件数	人口千人当たり 出火率	損害額 (千円)	一世帯当たり 損害額(円)
富谷市	20,699	52,452	6	0.11	971	47
大和町	12,521	27,861	15	0.54	20,683	1,652
大郷町	2,946	7,480	3	0.40	6,283	2,133
大衡村	2,124	5,539	2	0.36	240	113
計	38,290 (37,762)	93,332 (93,535)	26 (37)	0.28 (0.40)	28,177 (38,958)	736 (1,032)

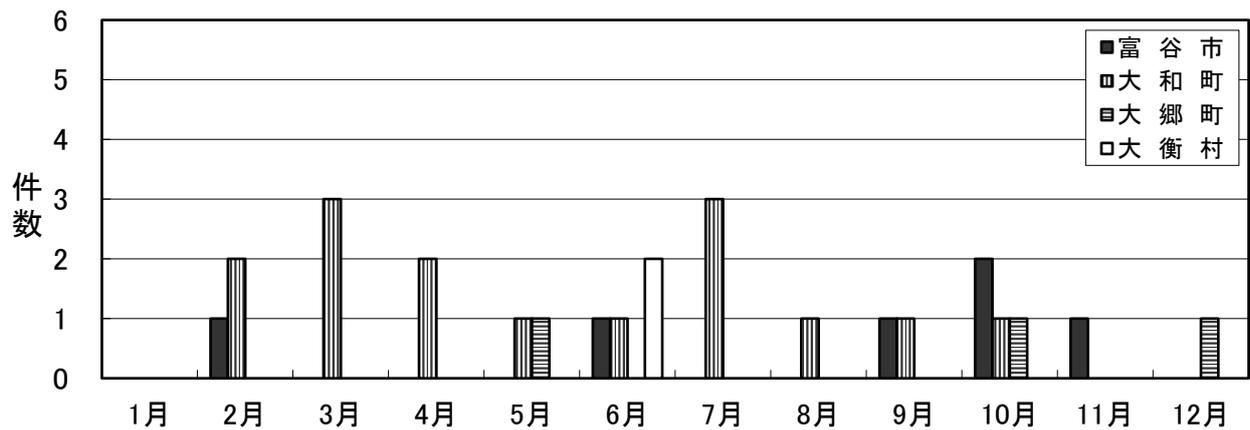
( )内は令和5年

## 3. 用途別建物火災状況

区分 用途別	出火件数	焼損面積(m <sup>2</sup> )		損害額(千円)
		床面積	表面積	
一般住宅 (併用住宅含む)	4	230	8	24,939
非住宅	3	91	7	661
防火対象物	5			1,418
計	12 (21)	321 (1,060)	15 (24)	27,018 (37,986)

( )内は令和5年

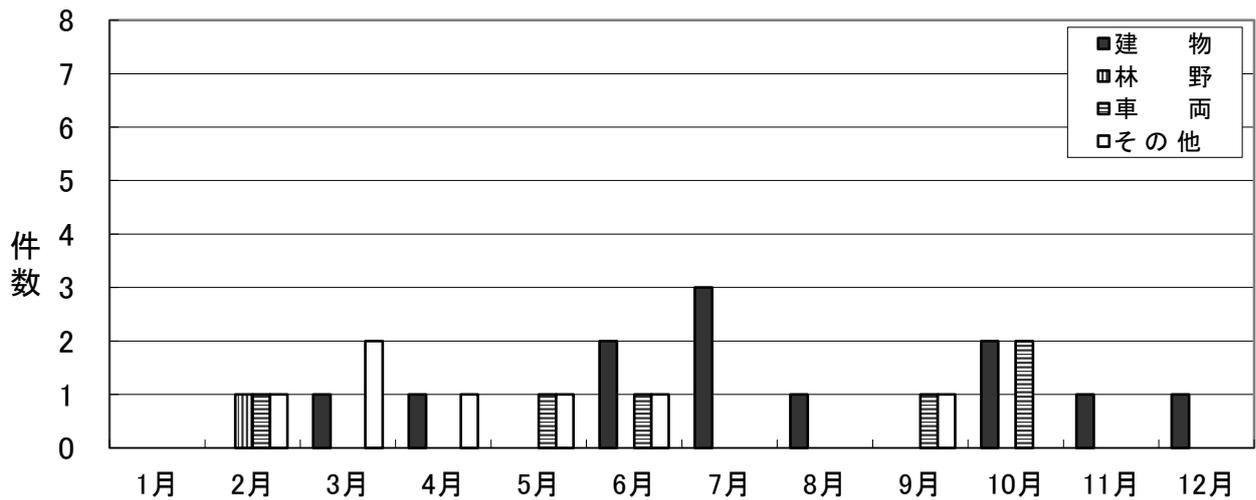
#### 4. 市町村別月別出火状況



市町村別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
富谷市		1				1			1	2	1		6
大和町		2	3	2	1	1	3	1	1	1			15
大郷町					1					1		1	3
大衡村						2							2
計	(1)	3 (2)	3 (5)	2 (10)	2 (5)	4 (4)	3	1 (3)	2 (2)	4 (3)	1 (1)	1 (1)	26 (37)

( )内は令和5年

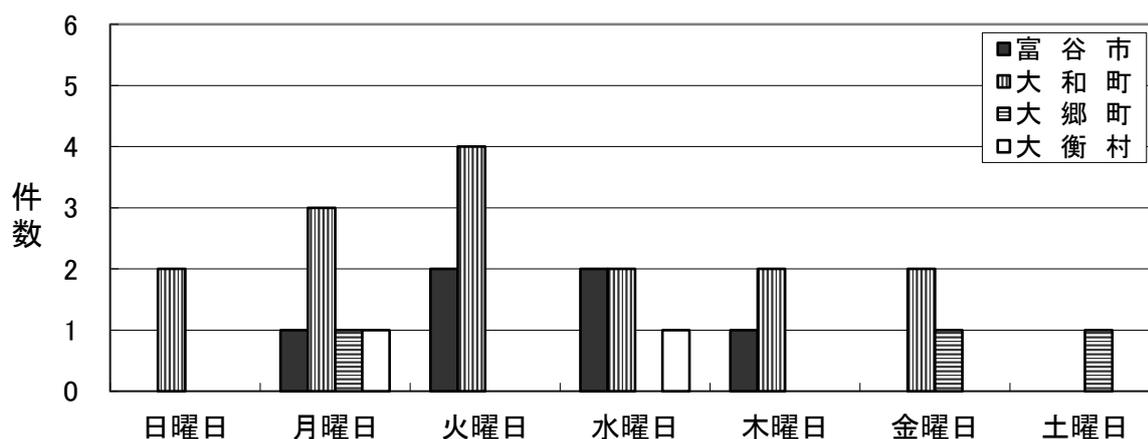
#### 5. 火災種別月別出火状況



火災種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建物			1	1		2	3	1		2	1	1	12
林野		1											1
車両		1			1	1			1	2			6
その他		1	2	1	1	1			1				7
計	(1)	3 (2)	3 (5)	2 (10)	2 (5)	4 (4)	3	1 (3)	2 (2)	4 (3)	1 (1)	1 (1)	26 (37)

( )内は令和5年

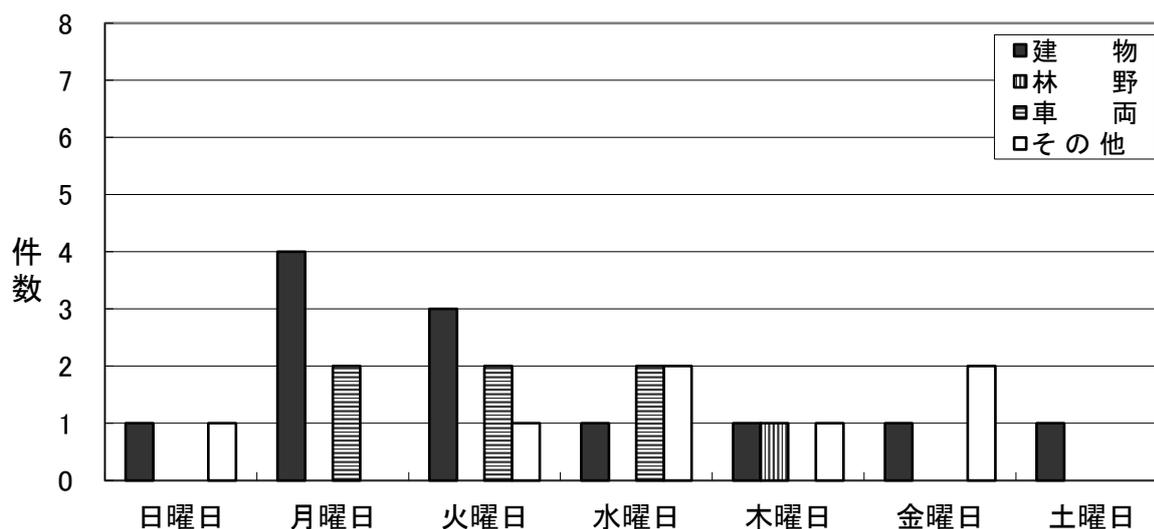
## 6. 市町村別曜日別出火状況



曜日別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	計
富谷市		1	2	2	1			6
大和町	2	3	4	2	2	2		15
大郷町		1				1	1	3
大衡村		1		1				2
計	2 (6)	6 (3)	6 (5)	5 (4)	3 (7)	3 (4)	1 (8)	26 (37)

( )内は令和5年

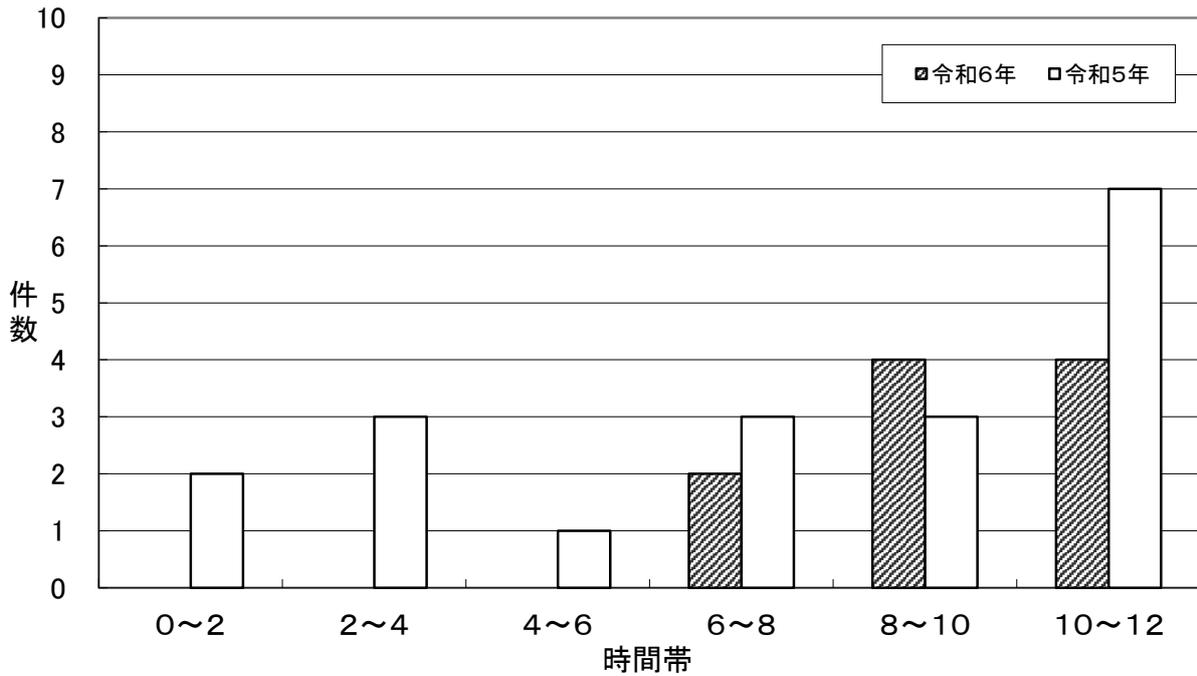
## 7. 火災種別曜日別出火状況



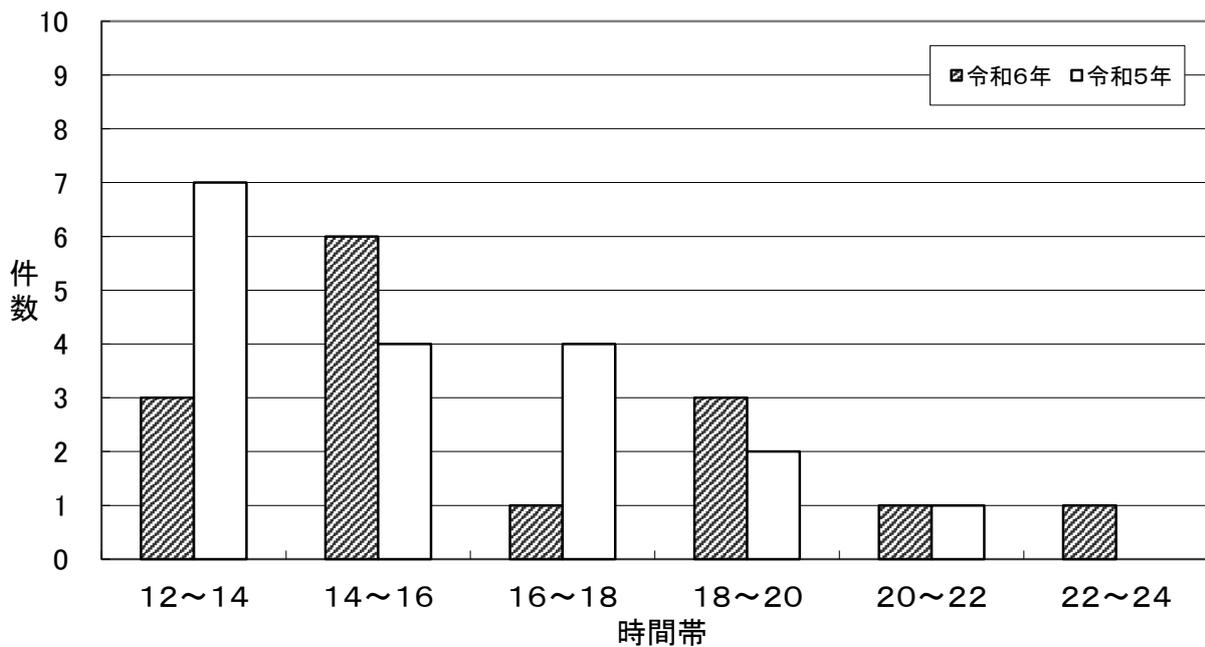
曜日別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	計
建物	1	4	3	1	1	1	1	12
林野					1			1
車両		2	2	2				6
その他	1		1	2	1	2		7
計	2 (6)	6 (3)	6 (5)	5 (4)	3 (7)	3 (4)	1 (8)	26 (37)

( )内は令和5年

### 8. 火災の出火時刻別状況



年 別 \ 時間別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12
令和6年				2	4	4
令和5年	2	3	1	3	3	7



年 別 \ 時間別	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
令和6年	3	6	1	3	1	1
令和5年	7	4	4	2	1	

出火時刻不明 1件

## 9. 出火原因別の出火件数

出 火 原 因	件 数
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	4
火 入 れ	3
排 気 管	3
た ば こ	1
電 気 装 置	1
配 線 器 具	1
衝 突 の 火 花	1
放 火 の 疑 い	1
そ の 他	5
不 明	4
調 査 中	2
その他の内訳:炭の不始末1、金属同士の衝突により火花1 レーザー溶接の溶接片1、倒れた線香1 容器内流動体のスパーク1	
計	26

## 令和6年の救急概要

令和6年中における救急状況をみると、出場件数4,425件(前年4,542件)で、搬送人員4,135人(同4,216人)となっている。これを前年と比較すると、出場件数で117件(2.6%)減少し、それに伴い搬送人員では81人(2%)減少している。

また、※PA連携による出場については310件(前年429件)と119件減少している。

### 1. 事故種別出場件数及び搬送人員

出場件数を事故種別ごとにみると、急病が2,888件(65.3%)と半数以上を占め、次いで一般負傷の589件(13.3%)、転院搬送の528件(11.9%)、交通事故の219件(5.0%)と続いており、これら4つの事故種別で全体の95.5%を占めている。

また、搬送人員を事故種別ごとにみると、急病が2,709人(65.5%)と最も多く、次いで一般負傷の544人(13.2%)、転院搬送の525人(12.7%)、交通事故の212人(5.1%)などとなっている。

### 2. 月別出場件数

出場件数を月別にみると、12月が433件と最も多く(1日平均14.0件)、次いで7月の429件(同13.8件)、8月の405件(同13.1件)などと続いており、年間による1日平均12.1件の出場件数となっている。また、出場件数で最も少ない月は5月の333件(1日平均10.7件)である。

### 3. 市町村別出場件数及び搬送人員

出場件数を市町村別にみると、富谷市が2,109件(47.6%)で最も多く、次いで大和町が1,501件(33.9%)、大郷町が479件(10.7%)、大衡村が322件(7.3%)、自動車専用道及び管外が14件となっている。

また、搬送人員を市町村別にみると、富谷市が1,990人(48.1%)と最も多く、次いで大和町が1,397人(33.8%)、大郷町が443人(10.7%)、大衡村が292人(7.1%)、自動車専用道及び管外が13人となっている。

### 4. 曜日別出場件数及び搬送人員

出場件数を曜日別にみると、月曜日が665件と最も多く、次いで火曜日が659件と続いている。最も少ない曜日は、水曜日の609件となっている。

また、搬送人員を曜日別にみると、火曜日が622人と最も多く、次いで月曜日が621人と続いており、最も少ない曜日は、土曜日で566人となっている。



また、ポンプ隊等が行った応急処置別実施件数をみると、心肺蘇生29件、血中酸素飽和度測定が19件、血圧測定17件、気道確保5件、固定3件などとなっている。

## 11. 救命講習普及啓発活動状況

救命講習受講状況をみると、実施回数は延べ63回（前年41回）で、受講人員は1,177人（前年115人増）となっている。受講人員数を月別にみると11月が200人で最も多く、次いで9月が198人、3月が188人と続いている。受講区分でみると、事業所508人と最も多く、次いでジュニア講習が250人と続いている。

平成6年から始めた救命講習会についてみると、回数は延べで1,602回を数え、延べ受講者数は40,274人に達した。

### 【まとめ】

令和6年中の救急出場件数は4,425件、搬送人員は4,135人で、昨年と比較し出場件数は117件減少、搬送人員も81人減少となり、前年比で出場件数2.6%、搬送人員2%の減少となる。一日平均12.1件で約119分に1件の割合で救急隊が出場し、住民22.6人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。市町村別では、富谷市が30件（1.4%）、大和町は46件（3.1%）、大郷町は34件（7.1%）、大衡村は14件（4.3%）減少した。事故種別では一般負傷、転院、その他が増加し、他事故種別は減少した。

令和6年の救急出場件数に係る特徴として、熱中症に起因する救急搬送人員の減少が挙げられる。全国的に見ると熱中症による搬送人員は、総務省消防庁が平成20年から実施している統計調査開始以降最多であった。しかしながら当管内においては年報統計項目には無いが令和5年109件、令和6年64件と前年比45件の減少となった。要因として消防訓練出向時や救命講習会において、熱中症予防に関する講話やパンフレットの配布等が地域住民の予防意識を高めた影響もあると考えられる。また、救急車の適切な利用を目的とした井7119の普及啓発も救急件数の減少に繋がっていると推測する。

救命を目的とした救急業務については、仙台・黒川メディカルコントロール体制を基盤とし、「指導救命士」による救急救命士の救命処置の向上と、研修・教育訓練の充実、実践をとおしての隊員の技術や資質向上を図り、救急救命士及び救急隊員の育成を計画的に行っていく。また、PA連携活動やドクターヘリを含めた関係医療機関との連携を充実させ、医療機関収容所要時間の短縮に努め、迅速・的確な搬送体制の整備を今後とも図っていく。更に、家庭・職場におけるバイスタンダーの普及啓発を引き続き推し進め、救急車到着までの『空白の時間』の傷病者管理、応急手当、救命処置がより高い確率で施され、救命率の向上が図れるよう住民と一体となった「安全・安心」な住みよい地域づくりを推進していく。

1. 事故種別月別出場状況

月別	事故種別 区分	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	転	そ	計	不 搬 送
		災	然 災 害	難	通 事 故	働 災 害	動 競 技	般 負 傷	害	損 行 為	病	院	の 他		
1	出場件数				15	5	2	55		3	237	52	4	373	34
	搬送人員				13	5	1	52		2	215	52		340	
2	出場件数	1			20	2	2	47		3	230	41	1	347	26
	搬送人員				20	2	2	43		1	215	41		324	
3	出場件数	1			17	1	5	54	1	2	224	54	2	361	28
	搬送人員				17	1	4	50	1	1	206	54		334	
4	出場件数	1			20	5	1	37		7	227	50	1	349	26
	搬送人員				20	5	1	30		6	215	49		326	
5	出場件数	2			11	3	7	55		1	215	38	1	333	20
	搬送人員				9	3	7	53		1	202	38		313	
6	出場件数	2			20	4	4	33	1	3	247	38	6	358	27
	搬送人員				19	4	4	31	1	3	233	37		332	
7	出場件数	1			21	17	7	54	3	5	264	56	1	429	28
	搬送人員				19	17	7	48	1	4	249	56		401	
8	出場件数	2			21	8	6	58		2	269	36	3	405	30
	搬送人員	2			19	8	6	56		1	250	36		378	
9	出場件数	1			11	7	2	39	1	5	231	42	2	341	18
	搬送人員				15	7	2	35		3	223	42		327	
10	出場件数	3			23	5	3	53	1	2	221	47	3	361	24
	搬送人員				22	5	3	47	1	2	214	47		341	
11	出場件数				21	6	4	54		4	211	33	2	335	19
	搬送人員				19	6	4	51		4	199	33		316	
12	出場件数	1			19	4	2	50		3	312	41	1	433	34
	搬送人員				20	4	1	48		2	288	40		403	
計	出場件数	15 (18)			219 (253)	67 (74)	45 (49)	589 (579)	7 (7)	40 (50)	2,888 (3,015)	528 (481)	27 (16)	4,425 (4,542)	314 (364)
	搬送人員	2 (3)			212 (247)	67 (71)	42 (49)	544 (545)	4 (7)	30 (37)	2,709 (2,776)	525 (481)		4,135 (4,216)	

( )内は令和5年

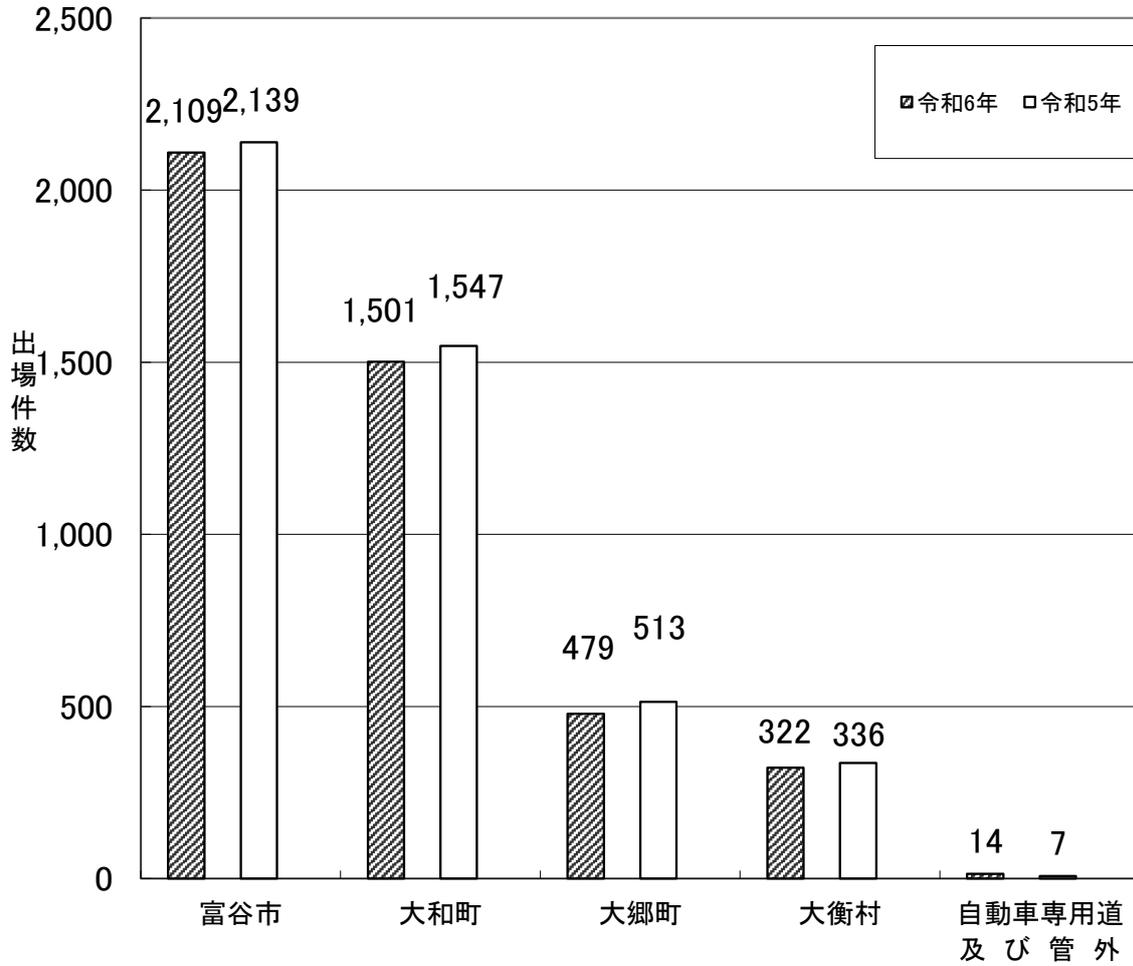
## 2. 事故種別市町村別出場状況

事故種別	市町村別 区分	富	大	大	大	自動車専用道 及び管外	計
		谷 市	和 町	郷 町	衡 村		
火 災	出 場 件 数	3	9	2	1		15
	搬 送 人 員		2				2
自然災害	出 場 件 数						
	搬 送 人 員						
水難事故	出 場 件 数						
	搬 送 人 員						
交通事故	出 場 件 数	79	77	26	28	9	219
	搬 送 人 員	78	74	23	27	10	212
労災事故	出 場 件 数	18	26	7	16		67
	搬 送 人 員	18	26	7	16		67
運動競技	出 場 件 数	18	20	5	2		45
	搬 送 人 員	16	19	5	2		42
一般負傷	出 場 件 数	262	194	89	43	1	589
	搬 送 人 員	240	178	85	40	1	544
加 害	出 場 件 数	7					7
	搬 送 人 員	4					4
自損行為	出 場 件 数	19	19	1	1		40
	搬 送 人 員	18	10	1	1		30
急 病	出 場 件 数	1,393	954	312	227	2	2,888
	搬 送 人 員	1,314	902	287	204	2	2,709
転 院	出 場 件 数	304	186	36	2		528
	搬 送 人 員	302	186	35	2		525
そ の 他	出 場 件 数	6	16	1	2	2	27
	搬 送 人 員						
計	出 場 件 数	2,109 (2,139)	1,501 (1,547)	479 (513)	322 (336)	14 (7)	4,425 (4,542)
	搬 送 人 員	1,990 (2,000)	1,397 (1,425)	443 (479)	292 (307)	13 (5)	4,135 (4,216)
不 搬 送		130 (156)	111 (130)	39 (39)	32 (37)	2 (2)	314 (364)

( )内は令和5年

### 3. 市町村別出場状況

## 市町村別出場状況



市町村別区分	富谷市	大和町	大郷町	大衡村	自動車専用道及び管外	計
出場件数	2,109	1,501	479	322	14	4,425
搬送人員	1,990	1,397	443	292	13	4,135
人口	52,452	27,861	7,480	5,539		93,332
世帯数	20,699	12,521	2,946	2,124		38,290
総人口に対する搬送割合	26.4人に1人	19.9人に1人	16.9人に1人	19.0人に1人		22.6人に1人
総世帯に対する出場割合	9.8世帯に1件	8.3世帯に1件	6.2世帯に1件	6.6世帯に1件		8.7世帯に1件

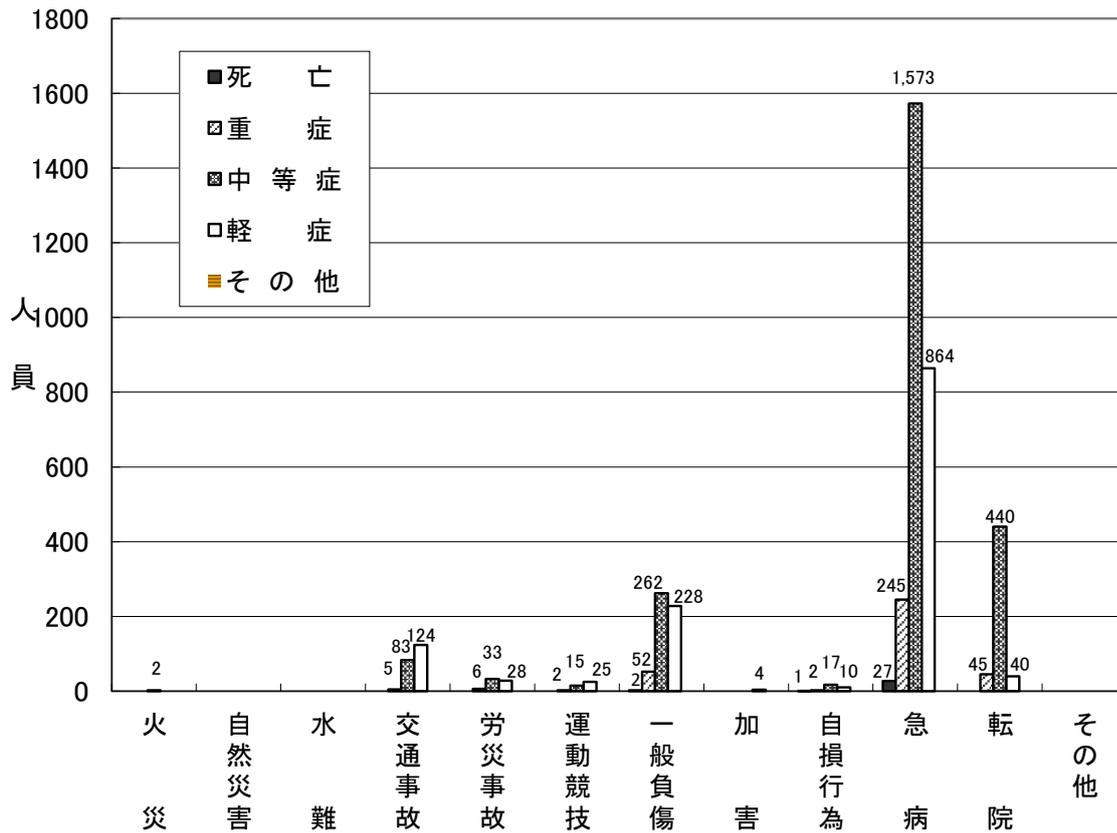
※ 人口・世帯数は令和6年12月末現在

#### 4. 事故種別曜日別出場状況

事故種別	曜日別区分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	計
		日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
火災	出場件数	1	4	2	3	1	2	2	15
	搬送人員						2		2
自然災害	出場件数								
	搬送人員								
水難事故	出場件数								
	搬送人員								
交通事故	出場件数	31	34	23	32	29	36	34	219
	搬送人員	32	34	19	30	30	34	33	212
労災事故	出場件数	3	7	11	15	10	14	7	67
	搬送人員	3	7	11	15	10	14	7	67
運動競技	出場件数	18	2	5	1	3	4	12	45
	搬送人員	16	2	5	1	3	3	12	42
一般負傷	出場件数	105	79	87	82	70	78	88	589
	搬送人員	97	72	82	77	64	68	84	544
加害	出場件数	2	1	1	1	1	1		7
	搬送人員		1	1		1	1		4
自損行為	出場件数	2	10	7	6	4	4	7	40
	搬送人員	2	8	7	3	3	2	5	30
急病	出場件数	433	452	425	378	414	385	401	2,888
	搬送人員	405	425	402	356	398	355	368	2,709
転院	出場件数	16	73	95	88	75	124	57	528
	搬送人員	16	72	95	88	74	123	57	525
その他	出場件数	5	3	3	3	5	5	3	27
	搬送人員								
計	出場件数	616 (645)	665 (679)	659 (678)	609 (599)	612 (660)	653 (646)	611 (635)	4,425 (4,542)
	搬送人員	571 (587)	621 (629)	622 (636)	570 (556)	583 (613)	602 (610)	566 (585)	4,135 (4,216)
不搬送		50 (61)	51 (56)	39 (45)	40 (49)	31 (51)	55 (49)	48 (53)	314 (364)

( )内は令和5年

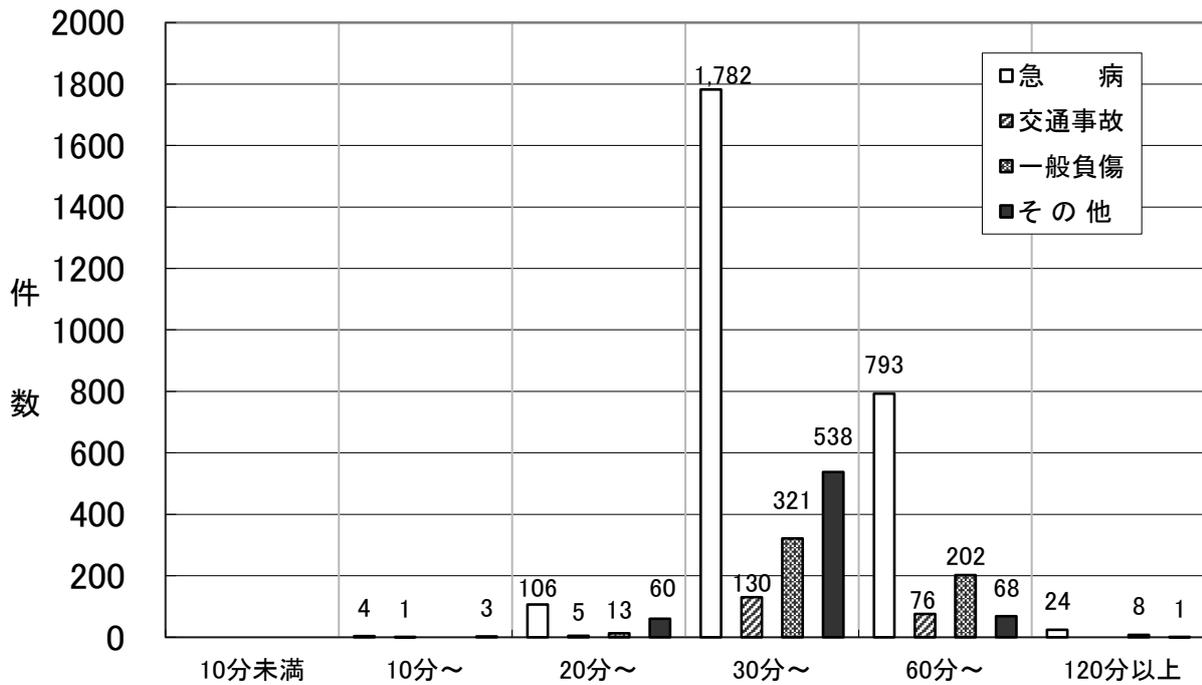
5. 事故種別傷病程度別搬送人員状況



事故種別 \ 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労災事故	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	その他	計
死亡							2		1	27			30 (55)
重症				5	6	2	52		2	245	45		357 (387)
中等症	2			83	33	15	262		17	1,573	440		2,425 (2,326)
軽症				124	28	25	228	4	10	864	40		1,323 (1,447)
その他													(1)
計	2 (3)			212 (247)	67 (71)	42 (49)	544 (545)	4 (7)	30 (37)	2,709 (2,776)	525 (481)		4,135 (4,216)

( )内は令和5年

6. 事故種別收容所要時間別搬送人員状況



時間別 事故種別	入電から医療機関等に收容した時間別人員							計	收容平均 所要時間(分)
	10分未満	10分~	20分~	30分~	60分~	120分以上			
急病		4	106	1,782	793	24	2,709	53.7 (54.5)	
交通事故		1	5	130	76		212	56.3 (59.8)	
一般負傷			13	321	202	8	544	57.7 (54.1)	
その他		3	60	538	68	1	670	43.1 (45.3)	
計	0 0	8 (9)	184 (175)	2,771 (2,804)	1,139 (1,194)	33 (34)	4,135 (4,216)	52.7 (53.4)	

( )内は令和5年

7. 管内管外別医療機関等搬送状況

区分	黒川管内	管外 (搬送件数全体の86.5%を占める)				小計	計
		仙台管内	塩釜管内	大崎管内	その他の地域		
搬送件数	556 (626)	3,302 (3,306)	49 (46)	196 (175)	8 (25)	3,555 (3,552)	4,111 (4,178)
搬送人員	559 (633)	3,317 (3,334)	49 (47)	202 (177)	8 (25)	3,576 (3,583)	4,135 (4,216)

( )内は令和5年

8. 救急隊員の行った応急処置の状況

事故種別 応急処置種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	令和5年
応急処置対象人員	2,709	212	544	670	4,135	(4,216)
止血	29	24	114	31	198	(211)
固定	3	70	62	10	145	(173)
人工呼吸	6				6	(6)
胸骨圧迫	1			1	2	(2)
心肺蘇生	61		4	3	68	(109)
うち自動心マッサージ器	52		3	1	56	(82)
酸素吸入	530	11	46	140	727	(789)
気道確保	93		6	6	105	(139)
うち経鼻エアウェイ						
うち異物除去	1		2		3	(4)
*うちラリゲル等	39			1	40	(60)
*うち気管挿管	1		2		3	(2)
保温・冷却	20		4	5	29	(28)
被覆	14	28	133	36	211	(245)
在宅療法継続	39		3	7	49	(52)
除細動	6				6	(8)
血糖測定	28				28	(25)
*心肺停止前静脈路確保	37		5	1	43	(37)
*心肺停止後静脈路確保	29		2	2	33	(62)
*アドレナリン投与	13		1		14	(26)
*ブドウ糖投与	7				7	(7)
血圧測定	2,534	202	500	656	3,892	(3,901)
心呼音聴取	1,248	120	143	233	1,744	(1,737)
血中酸素飽和度	2,646	209	537	666	4,058	(4,106)
心電図	2,386	113	328	502	3,329	(3,312)
その他	2,657	210	541	664	4,072	(4,111)
計	12,387 (12,678)	987 (1,165)	2,429 (2,370)	2,963 (2,840)	18,766	(19,086)

\* 部分については、救急救命士が医師の指示を受けて行った救命処置 ( )内は令和5年  
 ※ 応急処置対象人員は不搬送傷病者を除く

9. 年次別自動車専用道救急状況

年 別	区 別	交通事故		急 病		一般負傷		そ の 他		計	
		出 場 件 数	搬 送 人 員								
昭和51年 から平成 18年まで	上り線	125	170	77	71	14	14	6	1	222	256
	下り線	379	538	137	126	22	21	16	4	554	689
19年	上り線	3	6	6	6	1	1			10	13
	下り線	5	8	8	8	2	2			15	18
20年	上り線	3	2	2	2	1	1			6	5
	下り線	6	5	5	5	1	1			12	11
21年	上り線	4	4	5	6	1	1	2	3	8	6
	下り線	4	4	1	6	1	1	1		6	5
22年	上り線	4	3	1	2	1				5	4
	下り線	4	3	1	2	1	2			6	5
23年	東北道	10	13	7	6					17	19
	北部道路	10	13	7	6					17	19
24年	東北道	12	10	3	3			1	1	16	14
	北部道路	1	1	3	3			1	1	1	1
25年	東北道	6	7	6	6			2		14	13
	北部道路	1	1	6	6			2		1	1
26年	東北道	5	8	5	5			1	1	11	13
	北部道路	3	3	11	5			1		3	3
27年	東北道	7	6	2	1	1	1	2	1	12	9
	北部道路	9	9	1	3	1	1	2	1	3	4
28年	東北道	7	8					1		8	8
	北部道路	7	8	1	1	1		1	2	2	1
29年	東北道	9	9	3	3			3	4	15	12
	北部道路	9	9	3	3			1		1	1
30年	東北道	5	5	2	2			1		8	7
	北部道路	5	5	2	2			1	1	8	7
令和 元年	東北道	3	3	1	1			1		5	4
	北部道路	5	1	4	1	1		1	2	3	1
令和 2年	東北道	1	2	2	2			3		6	4
	北部道路	3	2	4	2	2		3	3	2	2
令和 3年	東北道	3	5	2	2					5	7
	北部道路	4	1	6	2	2				1	1
令和 4年	東北道	7	10	1	2	1	1	1	2	10	12
	北部道路	3	1	11	1	1	1	1	1	5	2
令和 5年	東北道	1	1	1	1					2	2
	北部道路	4	2	3	1	1				3	2
令和 6年	東北道	7	8	1	2	1	1	2		11	10
	北部道路	1	1	9	1	2	1	2	2	2	2
計	東北道	481	653	194	181	29	28	37	6	741	868
	北部道路	19	16	4	4	185	29	28	6	27	20

※平成22年から仙台北部道路開通により東北道上下線の区別から各自動車専用道路の出場件数、搬送人員を表示

10. PA連携出場状況

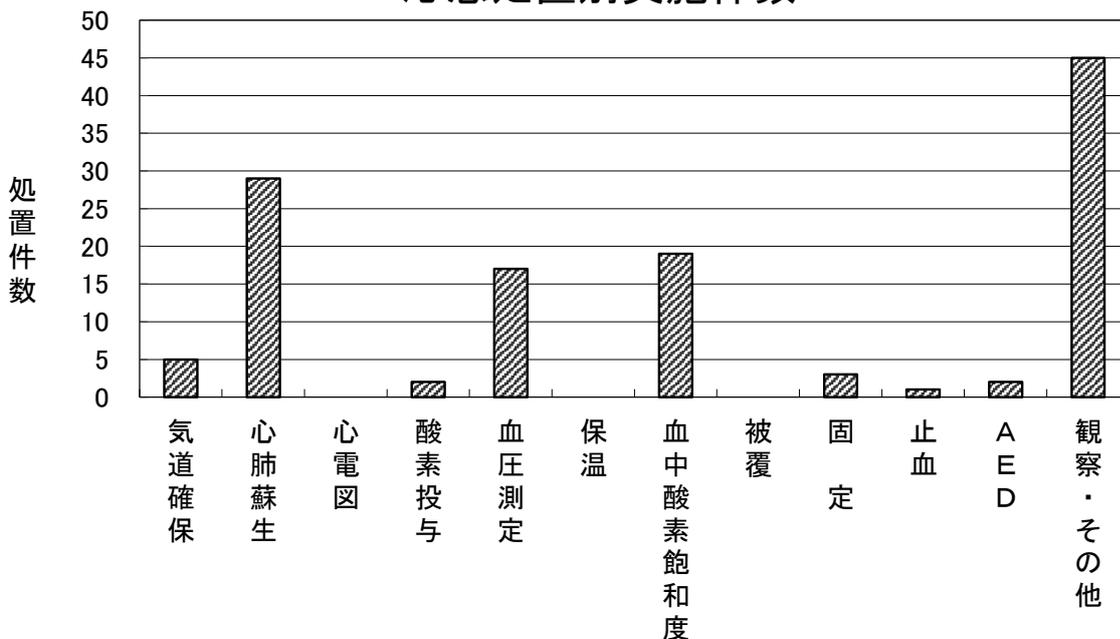
区分 市町村別	出場 件数	事故種別							出場基準別				
		急病	交通	一般負傷	自損行為	労働災害	運動競技	その他	計	C P A (心肺停止)	二次災害防止	隊長要請	その他
富谷市	124	77	20	20	2	2		3	124	43	15	6	60
大和町	100	65	17	10	5	1		2	100	37	14	6	43
大郷町	47	39	3	4	1				47	21	3	9	14
大衡村	35	12	18	5					35	7	16	3	9
自動車専用道 及び管外	4	1	3						4		3		1
計	310 (429)	194 (283)	61 (75)	39 (49)	8 (14)	3 (5)	0 0	5 (3)	310 (429)	108 (135)	51 (68)	24 (23)	127 (203)

( )内は令和5年

※PA連携とは、救急現場において消防隊と救急隊が連携して救急・救護活動を行うことの総称です。  
消防ポンプ車(Pumper)と救急車(Ambulance)の双方の頭文字から「PA」と名前をつけたものです。

11. PA連携活動状況

応急処置別実施件数



応急処置種別	気道確保	心肺蘇生	心電図	酸素投与	血圧測定	保温	血中酸素飽和度	被覆	固定	止血	AED	観察・その他	計
実施件数	5	29		2	17		19		3	1	2	45	123

※ポンプ隊等が行った応急処置実施件数

## 12. 救命講習普及啓発活動状況

月別	区分 回数 人員	上級講習	講ジュニア	自治会	学校等	PTA	事業所	婦人防火 クラブ等	消防団	その他	講普及員	計
1	回数						4	1		1		6
	人員						46	34		5		85
2	回数						6	2		1		9
	人員						97	45		6		148
3	回数				3		4					7
	人員				118		70					188
4	回数						1			1		2
	人員						11			2		13
5	回数									1		1
	人員									6		6
6	回数				2		2			2		6
	人員				24		66			15		105
7	回数						4			1		5
	人員						52			9		61
8	回数				1		1			1		3
	人員				17		21			11		49
9	回数		2				2	1		3		8
	人員		126				20	18		34		198
10	回数	1			2		4					7
	人員	6			27		57					90
11	回数		1		1		3	1		1		7
	人員		124		3		43	18		12		200
12	回数				1		1					2
	人員				9		25					34
計	回数	1	3		10		32	5		12		63
	人員	6	250		198		508	115		100		1,177

※ 上級講習とは、8時間の救命の総合的な講習をいう。

※ ジュニア講習とは、中学生等を対象とした90～120分の短時間講習をいう。

※ 普及員講習とは、所属する事業所等で行う普通救命講習会で指導者となるための24時間講習をいう。

上記※以外は、3時間の普通救命講習をいう。

13. 年次別救命講習普及啓発活動状況

年別	区分		上級講習	ジュニア講習	自治会	学校等	PTA	事業所	ク夫人 ラブ等 防火	消防団	その他	講習普及員	計
	回数	人員											
H6~ H18	回数				16	82	9	138	126	23	69		463
	人員				296	4,061	213	3,378	2,672	658	1,836		13,114
H19	回数				1	13	2	23	11	2	19		71
	人員				23	513	48	436	236	55	274		1,585
H20	回数				3	18	2	32	5	1	15		76
	人員				68	889	44	613	96	35	185		1,930
H21	回数				3	23		31	8	4	14		83
	人員				57	973		675	159	88	219		2,171
H22	回数		2	1	15	2	24	6	1	13			64
	人員		178	25	506	37	427	164	42	193			1,572
H23	回数	2	2	1	12		22	10	2	9			60
	人員	33	74	17	529		350	265	52	204			1,524
H24	回数	2		2	17		28	6	1	14			70
	人員	24		52	775		602	117	39	263			1,872
H25	回数	2		6	13		36	7		8			72
	人員	11		73	637		687	193		89			1,690
H26	回数	3	1	2	15		41	6	1	7	1		77
	人員	33	151	44	852		778	134	34	39	11		2,076
H27	回数	1	2		8	1	52	7	1	9			81
	人員	13	222		468	22	1,041	214	36	92			2,108
H28	回数		1	1	13		25	5	2	21			68
	人員		169	17	625		543	143	22	226			1,745
H29	回数	1	1	1	20		38	5	1	14			81
	人員	5	165	8	798		863	138	9	111			2,097
H30	回数	1	1		11	2	39	3		18			75
	人員	3	165		512	18	719	83		199			1,699
R元	回数	1	2	2	17		31	6		18			77
	人員	16	234	38	530		606	223		236			1,883
R2	回数	1			3		23	2		4			33
	人員	12			113		345	47		23			540
R3	回数	1					7			7	2		17
	人員	5					80			26	9		120
R4	回数	2		2	8		11			7			30
	人員	19		38	93		117			42			309
R5	回数	1	4		5		17	1		13			41
	人員	20	482		188		264	22		86			1,062
R6	回数	1	3		10		32	5		12			63
	人員	6	250		198		508	115		100			1,177
計	回数	19	19	41	303	18	650	219	39	291	3		1,602
	人員	200	2,090	756	13,260	382	13,032	5,021	1,070	4,443	20		40,274

## 令和6年の救助概要

令和6年中における救助活動の状況をみると、救助出場件数は48件、救助活動件数は26件、救助人員は28人となっており、前年と比較すると出場件数で10件、活動件数で7件、救助人員では7人と減少した。

### 1. 事故種別月別救助出場・活動状況

救助出場・活動の状況を事故種別でみると、救助出場件数で最も多かったのは交通事故の18件（37.5%）、次いで建物等による事故が16件（33.3%）、その他の事故が12件（25.0%）となっている。

また、活動件数・救助人員をみると、交通事故は活動件数が11件で13人が救助され、建物等による事故が4件で同4人、その他の事故が10件で同10人となっている。

次に救助出場件数を月別にみると、3月が9件（18.8%）と最も多く、次いで1月、7月が各6件（各12.5%）、11月が5件（10.4%）となっている。

また、活動件数・救助人員をみると、3月が活動件数6件、救助人員が7人と最も多く、次いで11月が4件で同4人、7月がそれぞれ3件で同3人となっている。

### 2. 市町村別救助出場・活動状況

救助出場件数を市町村別にみると、大和町が19件（39.6%）で最も多く、次いで富谷市が18件（37.5%）、大郷町が7件（14.6%）、大衡村が2件（4.2%）となっている。

また、活動件数・救助人員をみると、富谷市が13件で救助人員14人、大和町が8件で同8人、大郷町が2件で同2人、大衡村が1件で同1人となっている。

### 3. 曜日別救助状況

救助出場件数を曜日別にみると、水曜日が12件（25.0%）で最も多く、次いで月曜日が8件（16.7%）、土曜日が7件（14.6%）となっている。

### 4. 救出所要時間別状況

活動件数のうち、救助完了した26件を時間別（覚知から救出までに要した時間）にみると、「10分～20分未満」が11件（42.3%）と最も多く、次いで「10分未満」が7件（26.9%）、「30分～60分未満」が5件（19.2%）となっている。

## 5. 傷病程度別状況

救助し救急搬送した21人の内訳を医療機関等の初診時傷病程度別にみると、軽症が7人、中等症が9人、重症が5人となっている。

(不搬送とした7人は含まない)

### 【まとめ】

令和6年中の救助出場件数は48件で、救助活動件数は26件、救助人員は28人となり、前年比で出場件数、活動件数、救助人員のいずれも減少となった。

事故種別でみると、交通事故が前年に引き続き多く発生している。交通事故による救助は管内の交通量の増加などが要因と考えられ、事故車両内への閉じ込めは二次的災害の危険度も高く、より安全で迅速な救出活動が求められる。また、建物等による事故では、建物の入り口が施錠されて安否確認が出来ないなどの事故が多く発生している。更に多種多様な機械による事故も想定され、いざ発生すれば重大事故につながる可能性が高いことから、機械の特性や構造の知識を習得し、各隊との連携を図り早急な救助方法を検討しておくなどの対応が求められる。

管内においては大規模企業、工場の進出によって、災害も複雑多様化し救出困難事案も予測されることから、常日頃より過去の事例等を教訓として、潜在する危険性などを事前に把握し、検討しておくことが求められる。また、近年の自然災害は地震をはじめ、台風による風水害はもちろん、短時間における集中豪雨が起因の土砂災害、竜巻など様々である。これら災害に対応すべく消防防災機関として、地域住民の安全・安心を守るうえで防災航空隊、ドクターヘリなど各関係機関との連携は必須である。特に大規模災害による被害に対する緊急消防援助隊としての出場も含め、速やかな連絡体制をもって、要救助者等の迅速な救出・救護を図っていくためには、職員一人ひとりが危機意識をもって消防・救助に必要な体力・技術・知識の習得に努めていくことが、非常に重要である。

1. 事故種別月別救助出場・活動状況

月 別	事故種別	火	交	水	自	事	よ	酸	破	そ	計
		災	通	難	然	機	建	ガ	裂	の	
			事	事	災	械	る	ス	事	他	
			故	故	害	に	物	事	故		
						よ	事	及	事		
						る	等	故	故		
						故	に	び	故		
1 月	出場件数		1	1			3			1	6
	活動件数			1						1	2
	救助人員			1						1	2
2 月	出場件数		1			1	1			1	4
	活動件数		1							1	2
	救助人員		1							1	2
3 月	出場件数		6				2			1	9
	活動件数		5							1	6
	救助人員		6							1	7
4 月	出場件数		2							2	4
	活動件数		1							1	2
	救助人員		1							1	2
5 月	出場件数		2								2
	活動件数										
	救助人員										
6 月	出場件数		1				1				2
	活動件数		1								1
	救助人員		1								1
7 月	出場件数		1				3			2	6
	活動件数						2			1	3
	救助人員						2			1	3
8 月	出場件数									1	1
	活動件数									1	1
	救助人員									1	1
9 月	出場件数		1				2			1	4
	活動件数		1							1	2
	救助人員		2							1	3
10 月	出場件数		1				1			1	3
	活動件数		1							1	2
	救助人員		1							1	2
11 月	出場件数		2				1			2	5
	活動件数		1				1			2	4
	救助人員		1				1			2	4
12 月	出場件数						2				2
	活動件数						1				1
	救助人員						1				1
計	出場件数		18	1		1	16			12	48
	活動件数		11	1			4			10	26
	救助人員		13	1			4			10	28
令和 5年	出場件数		27	1			11			19	58
	活動件数		17	1			6			9	33
	救助人員		18	1			7			9	35

## 2. 事故種別市町村別救助出場・活動状況

事故種別 市町村別		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	る 機 械 に 故 よ	よ 建 る 物 事 等 故 に	酸 ガ ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他	計
富谷市	出場件数		5				7			6	18
	活動件数		4				3			6	13
	救助人員		5				3			6	14
大和町	出場件数		5	1			7			6	19
	活動件数		2	1			1			4	8
	救助人員		2	1			1			4	8
大郷町	出場件数		5				2				7
	活動件数		2								2
	救助人員		2								2
大衡村	出場件数		1			1					2
	活動件数		1								1
	救助人員		1								1
自動車 専用道 管外	出場件数		2								2
	活動件数		2								2
	救助人員		3								3
計	出場件数		18	1		1	16			12	48
	活動件数		11	1			4			10	26
	救助人員		13	1			4			10	28
令和 5年	出場件数		27	1			11			19	58
	活動件数		17	1			6			9	33
	救助人員		18	1			7			9	35

## 3. 事故種別曜日別救助出場状況

事故種別 曜日別		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	る 機 械 に 故 よ	よ 建 る 物 事 等 故 に	酸 ガ ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他	計
日曜日			2				2			1	5 (5)
月曜日			5							3	8 (8)
火曜日			1				4			1	6 (10)
水曜日			6				1			5	12 (9)
木曜日			1	1			4				6 (10)
金曜日			1			1	2				4 (10)
土曜日			2				3			2	7 (6)
計			18 (27)	1 (1)		1	16 (11)			12 (19)	48 (58)

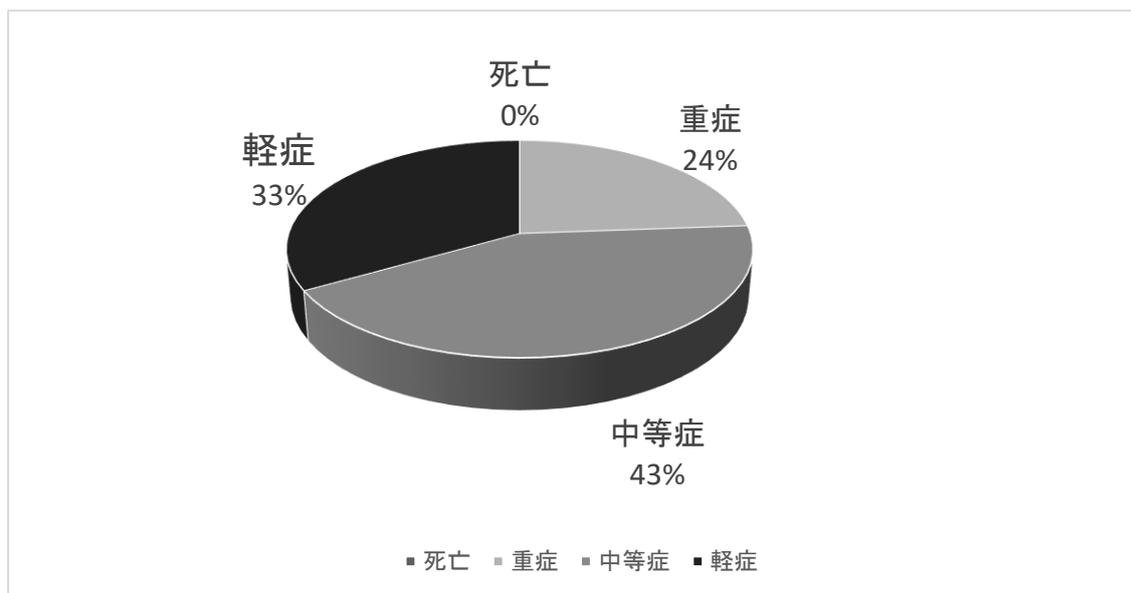
( )内は令和5年

#### 4. 救出所要時間状況

区分 事故種別	覚知から救出までに要した時間（件数）						計
	10分未満	10分～ 20分未満	20分～ 30分未満	30分～ 60分未満	60分～ 120分未満	120分以上	
火災							
交通事故	4	6		1			11
水難事故				1			1
自然災害							
機械による 事故							
建物等による 事故		3		1			4
ガス及び酸欠 事故							
破裂事故							
その他	3	2	1	2	1	1	10
計	7 (6)	11 (16)	1 (10)	5	1 (1)	1	26 (33)

( )内は令和5年

#### 5. 傷病程度別状況



傷病程度	死亡	重症	中等症	軽症	計
人員		5	9	7	21

※円グラフ・表には、救急隊にて不搬送判断した症例(7名)は含まず。  
7名の内訳:救急隊にて「明らかに死亡」と判断⇒5名、救助者ケガ等なし⇒2名。